

令和 7 年
第 1 1 回定例会議事録

令和 7 年 1 1 月 1 2 日

泉大津市教育委員会

令和7年11月12日（水）午前10時より令和7年第11回泉大津市教育委員会会議定例会を泉大津市役所2階202会議室に招集した。

出席委員

教 育 長	竹内 悟
教育長職務代理者	澤田 久子
教育委員	西尾 剛
教育委員	池島 明子
教育委員	奥 健一郎

出席事務局職員

教育委員会事務局長	鍋谷 芳比古
教育委員会事務局教育政策課長	大塚 和弘
教育委員会事務局指導課長	藤谷 考志
教育委員会事務局生涯学習課長	中山 裕司
健康こども部こども育成課長	寺田 和夫
教育委員会事務局教育政策課	三上 達朗
教育委員会事務局教育政策課	高岡 愛

案件

日程第 1 議案第38号 令和7年度泉大津市教育委員会教育事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価結果報告書について

日程第 2 報告第24号 泉大津市教育委員会の後援名義使用について

議事録署名委員

教育委員 西尾 剛

※読みやすさ等のため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。

会議の顚末

○竹内教育長 令和7年第11回教育委員会会議定例会の開会宣言

○令和7年第10回教育委員会会議定例会議事録承認

△日程第 1 議案第38号 令和7年度泉大津市教育委員会教育事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価結果報告書について

◎教育政策課長（大塚和弘）趣旨は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、評価結果報告書を市議会に提出するとともに、公表することについて本定例会に諮るものでございます。

内容といたしましては、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用し、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を市議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たそうとするものでございます。

根拠法令については記載のとおりでございます。

それでは、点検・評価内容を説明いたしますので、恐れ入りますが、別冊、点検及び評価結果報告書（案）をご覧ください。

第3回定例会にて流れについては説明しておりますことに加え、時間の都合もございましたので主な部分を抜粋して説明いたします。

まず、6ページをご覧ください。

今回の点検・評価対象となった7事業を記載しております。

7ページから13ページにかけまして、対象事業における概要説明書を掲載しており、14ページ15ページにかけまして、外部委員による対象事業ごとの評価コメントならびに総括意見を記載しております。

全事業において、改善し継続または現行どおりという外部評価をいただいております。

15ページ末尾に記載しておりますが、総括意見としては「泉大津市のみでの傾向ではないかもしれないが、他の自治体より民間のノウハウを活用しながら、サービスの向上や多様なニーズに対応していくことに配慮がされていると感じた。今回、A評価とB評価もあったが、すべての事業において、今ある事業をどのようにより良くしていくかという視点で、今後も実施してもらえればと思う。

また、評価というと何か課題があってそれを改善していくというあまりポジティブなイメージがないが、良いところをさらに良くするという点も評価の役割と考えている。

今回選ばれた事業だけではなく、他の事業においても、課題の改善もあるかと思うが、良い点をさらに良くするという捉え方の評価もあることを知っていただければと思う。」旨の評価でございます。

16ページでは、外部評価を踏まえた教育委員会としての評価結果ならびに考え方を記載しております。

17ページで、教育委員会としての総括意見を記載しており、「各事業において、拡充等を行ったことで課題が一定改善された点は評価すべき点である。一方で、事業の継続性を確保しつつ、改善を図るためには、教職員や児童生徒、保護者等の市民のニーズに応じた事業運営が求められるため、他部局との連携の強化や情報共有、意見聴取を行うことでより実効性のある教育施策の展開を図る。

また、数値化が難しい施策については、質的評価を積極的に活用し、その価値をわかりやすく伝えていく工夫が求められる。SNS等の活用による効果的な情

報発信を行うことにより、事業の魅力を広く伝え、教育施策の継続的な向上に取り組む。」という表現としております。

次ページ以降は、資料を添付しているものでございまして、22ページでは、外部委員名簿を参考資料として掲載しております。

簡単ではございますが、説明は以上となりますので、本内容を以て公表してよろしいか、本定例会で諮るものでございます。よろしくお願いいたします。

◆教育長（竹内悟）スポーツ振興事業のところで、「学校との連携においても、生涯学習課内でノウハウを共有し、連携を図っていく」と記載がありますが、これは部活動についてでしょうか。

◎生涯学習課長（中山裕司）いえ、部活動だけではなく、様々なイベントを行う上で、学校との連携を図っていくのを、例えば生涯学習課の中でも生涯学習推進係が学校と連携を図れている部分があれば、生涯学習課内で、スポーツ青少年係と生涯学習推進係で連携してノウハウを共有して、学校と連携をする方がいいのではないかなという意見いただきました。

◆教育長（竹内悟）大阪体育大学が関係しているプロジェクトも同様ですか。

◎生涯学習課長（中山裕司）どちらかと申しますと、生涯学習課内でのノウハウを共有したほうがいいというお話だったので、放課後こども教室ではないです。生涯学習推進係は図書室との連携がとれていますが、スポーツ青少年係では学校との連携があまり図れていない部分があるので課内でノウハウを共有した方が良いのではないかなという話でした。

◆教育長（竹内悟）大阪体育大学の取り組みは、仲よしとの取り組みですか。

◎生涯学習課長（中山裕司）大阪体育大学は、元々は仲よしを回ってくれていて、現在は全小学校から募集している形になります。

◆教育長（竹内悟）このスポーツ振興事業の学校との連携をとというのは、評価委員から更に推進すべきという評価なのではないでしょうか。

◎生涯学習課長（中山裕司）課内での共有を図っていけばより良くなるのではないかなというイメージだと思います。

◆教育長（竹内悟）それはコナミと連携をとるという意味か、それともスポーツ青少年係の方で新規事業をもっと出すべきという意味なのか。

◎生涯学習課長（中山裕司）新規事業を出すべきとか、そうそういうことではなかったです。

◆教育委員（西尾剛）生涯学習課内でのノウハウの共有が不十分なので、それによって学校との連携も不十分になってというような趣旨に読めます。

◆教育委員（奥健一郎）留守家庭児童会運営事業ですけれども、「多様なニーズに対応したという点が今後必要になってくる。ゆくゆくは幅広いニーズに応えていくことを期待する。」と記載がありますが、幅広い多様なニーズとはどのような具体例が出てきましたか。

◎生涯学習課長（中山裕司）なぜ自己評価がBなのかという話になりまして、民間委託に移行することによって事業を拡充していけるのではという話になり、Bにいたしました。もう1つは一時預かりです。現在も土曜日の一時預かりを、民間委託している1校だけで行っているの、そこを拡充していくという話です。

◆教育委員（奥健一郎）もっと推進すればいいのではないかなという話が出てくるとうことでしょうか。

◎生涯学習課長（中山裕司）民間委託になることによって、サービスの拡充を進めていければという話がありました。

◆教育委員（奥健一郎）何かクレームが来ていたのですか。

◎生涯学習課長（中山裕司）いいえ、クレームが来てるのではなく、なぜ自己評価

がAじゃないのかという話の中で、拡充を図っていくために民間委託に移行していきたい、それでなぜ自己評価がAではないのですかというところから、そういう話になりました。

◆教育委員（澤田久子） どういうニーズが上がっているのかわかりませんが、留守家庭学級だったら、夏休みだけは保護者が毎日弁当を作って持たせるのが大変だから、弁当を注文して提供してほしいというニーズはあります。民間だとやっているところもあるようです。

◆教育長（竹内悟） 現在、旭小学校は民間に委託しており、弁当を提供しております。

◎事務局長（鍋谷芳比古） 旭小学校は民間に委託したことで、弁当を提供するというサービスができるということでしたので、実証事業として昨年度から実施しております。

◎生涯学習課長（中山裕司） 旭小学校が実施したことによって夏休みの弁当は全校提供しております。旭小学校だけでやるよりも全校で実施する方が、数が増えて業者としても良いので、そういう形で昨年度から実施しております。

◆教育委員（奥健一郎） 旭小学校で実施した結果として、良かったのでしょうか。

◎生涯学習課長（中山裕司） そうですね。ただ、去年は事業者Aだったのが、今年は事業者Bに変わったことで、弁当が冷えているという点で課題があります。保冷剤と一緒に送られてくるので、冷たく、電子レンジで温めることが出来ないためです。

◆教育委員（奥健一郎） 留守家庭こそ丁寧に対応しないとルーズにしていたら不満が出てくると思います。

◆教育委員（澤田久子） 朝もっと早くから預かってほしいというニーズもありますね。仕事に行く時間があるからどうしても、もっと長く、遅くまで預かってくれないか等、いろいろニーズがありますね。

◆教育委員（奥健一郎） やっぱ、この中でクレームが出やすいのは恐らくこの留守家庭の話だと思います。

◆教育委員（西尾剛） ただ、子どもからするとせつかくの夏休みなのに朝早くから学校に行って可哀想な気がしますけどね。せめて弁当くらいは作ってあげてもいいのではと思います。

◆教育委員（澤田久子） 保護者は夏休み期間中も仕事ですが、夏休みだけは弁当を作らないといけない。また、普段は朝早くから学校に行かせる家庭もありますが、そういうわけにはいかないから、いろいろ問題や課題があると思います。

◆教育長（竹内悟） 民間に移行して、逆に民間の持っているアイテムと一緒に遊んでくれたり、旭小学校の場合は多目的室が使えて、外が暑いときには、映像も利用して遊んでくれたり、民間はそういう How to を持ってるので、ずっと家にいるよりもいいと思います。

◎生涯学習課長（中山裕司） 先ほどのスポーツ振興事業の情報の連携に関する質問の回答ですが、教育長がおっしゃられていた、仲よし学級が大阪体育大学の体力向上プロジェクトとして、総合体育館でする形に変わって2年目になりますが、募集の人数まで達していない現状があり、周知の方法として、学校と連携して周知を図ることや、他の課内のイベントと連携して、情報の周知をするようにすればいいのではというような意見をいただきました。

※議案第38号可決

△日程第 2 報告第 2 4 号 泉大津市教育委員会の後援名義使用について

◎教育政策課長（大塚和弘）趣旨は、泉大津市教育委員会の後援等に関する要綱に基づき、後援を承認いたしましたので報告するものでございます。

対象期間は令和 7 年 1 0 月 1 日から 1 0 月 3 1 日まででございます。

内容につきましては、4 ページ、別紙 1 をご覧ください。

申請件数は 7 件で、全件を承認しております。

番号 1 は新規事業でございます。事業要件として、発達障がいのある子への関り方に関する講演やワークショップを通じて、本人らしさを尊重した子育てを学ぶという目的や事業内容が、教育、学術、文化の振興に寄与するものであると認められ、市内で開催されることから広く市民が参加できるもの、かつ主催者に事業遂行能力が認められると判断し、承認したものでございます。

※報告第 2 4 号終結

午前 1 0 時 2 3 分終了

議事録署名委員

教 育 長

教 育 委 員